

## 療法食についてのQ&A

**Q** 療法食と、普通のお店や通販で買えるフードのちがいは何ですか？

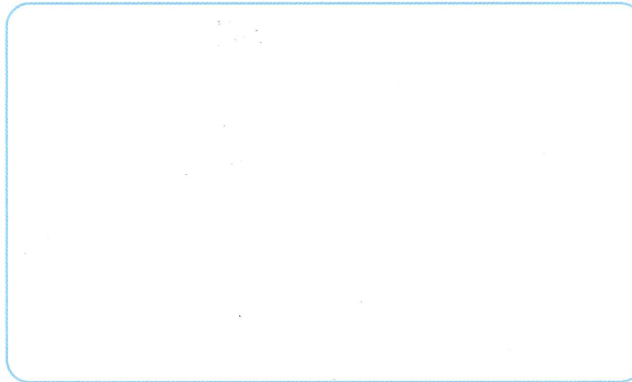
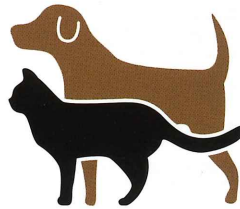
**療法食**（食事療法食や特別療法食とよぶこともあります）は**病気の犬や猫の治療のために**、特別に原材料を選び**栄養成分を調整したフード**です。普通の総合栄養食とちがって、犬（または猫）によっては、食べさせるとよくない場合もあります。獣医師の先生に相談のうえ、食べさせてください。

**Q** 療法食はどこで買えますか？

病気の犬、猫のためのフードなので、**動物病院で診察を受けて**、犬、猫に合ったフードかどうかを相談してから買ってください。病気の状態は変化するため、飼い主さんだけで療法食を決めると体調が悪くなる恐れもあります。療法食を買うときは、その都度、動物病院で相談し、動物病院にてお求めください。

**Q** うちの犬（または猫）には、どの療法食をあげればよいですか？

療法食は基本的に病気の犬、猫のためのフードなので、どの療法食をあげるかは、**獣医師の先生の診断と指導に基づいて**決めてください。パッケージに書かれた症状によく似た症状の犬、猫であっても、**誤った療法食を食べさせると、健康管理がうまくいかないだけでなく、病気を悪化させてしまう**こともあります。



interzoo

MSD  
Animal Health

共立製薬

ZENOAQ

Dr.'s



ファームプレス

ROYAL CANIN  
a division of Mars Petcare  
Eukanuba ROYAL CANIN

小動物臨床栄養学研究会

検索

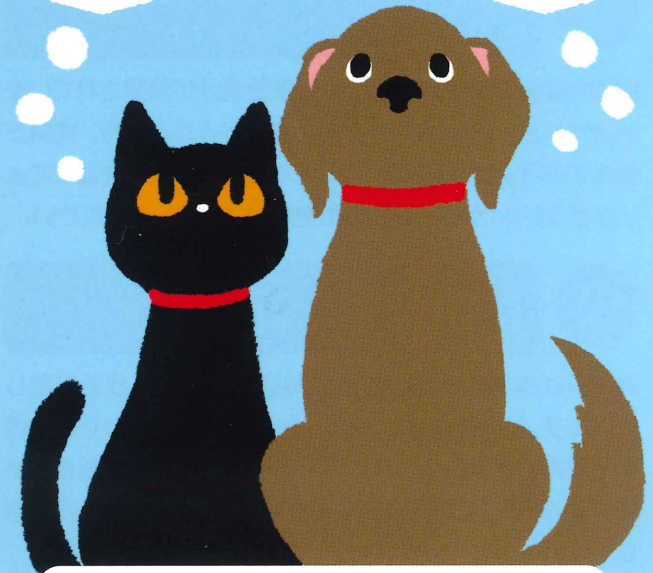
ペ  
ット  
ト  
フ  
ー  
ド

# Q & A

療法食?

給与法?

保管法?  
トラブル



ペットフードのためのQ&Aガイド

監修：小動物臨床栄養学研究会  
(公財)動物臨床医学研究所



小動物臨床栄養学研究会は、「栄養学」の臨床研究分野をより充実したものにし、臨床における理解を深め、幅広い活動を展開し、臨床獣界に寄与することを目的に活動しています。

## 給与法についてのQ&A

**Q** 療法食をなかなか食べてくれません。どうすればよいですか？

療法食に切り替えるときは、これまでのフードに療法食を**少しずつ**混ぜ、徐々に療法食の割合を増やしていってください。**1週間くらいかけて**慣れさせてあげてください。

これまでのフードと療法食を別々のボウルなどに入れて少しずつ切り替えていく**「2皿法」**で慣らしてもよいです。それでも食べてくれないときは、**電子レンジで体温くらいに温めると**よく食べてくれるようになる場合が多いようです。電子レンジで温めるときは、金属製の容器は使わず、**温めすぎに注意**してください。

**Q** 療法食を食べてくれないので、好きなものと混ぜて食べさせてもよいですか？

療法食は**病気の犬や猫のために栄養成分が調整**されています。そのため、療法食以外のものを食べさせた場合、病気が悪化する可能性があります。好きなものと療法食を混ぜてもいかどうかは、かかりつけの動物病院に相談してください。

**Q** 療法食を食べさせていますが、おやつもあげてよいですか？

療法食は病気の管理のために**特別に材料や成分を調整**しています。療法食によっては、食べさせられる**おやつの種類や量に制限**があり、おやつをあげてはいけな場合もあります。おやつについては、かかりつけの動物病院で相談してください。

**Q** うちの犬(または猫)には病気が2つあります。病気に合わせて、いくつかの療法食を混ぜて食べさせてもよいですか？

ある病気のための療法食が、**他の病気には合わない可能性**があります。一般的には、**療法食を混ぜて食べさせることは避けてください。**

**Q** 若いころから療法食をあげています。最近、歳をとってきましたが、このまま同じ療法食をあげ続けてもよいですか？

療法食は病気の犬や猫にとって**最適になるように栄養成分が調整**されています。病気とうまく付き合っていくためには、そのまま療法食を続けていくとよいでしょう。ただし歳をとると、心臓や肝臓、腎臓など、体に変化が生じてきます。それに合わせてフードを変えていくかどうかは、獣医師の先生に相談してみてください。

**Q** 療法食の場合、1回にあげる量や、1日にあげる回数などが普通のフードとちがうのでしょうか？

基本的には普通のフードと同じです。パッケージに書かれた1日分の分量を、基本的には1日2回以上にわけてあげてください。病気の症状や健康状態によっては、**決まった通りの回数**で、フードをあげた方がよいこともあります。分量や回数に迷ったら動物病院に相談してください。また、犬、猫が、**いつも新鮮な水を飲めるように**してください。

**Q** 病気の犬(または猫)に療法食を食べさせていますが、一緒に飼っている元気な犬(または猫)が療法食を食べてしまいます。大丈夫でしょうか？

できるかぎり**部屋を分けたり、ケージに入れたり**して別々にフードを食べさせてください。元気な子が、多少の療法食を食べても体をこわすことはありませんが、**病気がしっかりと療法食を食べられるよう気を付けて**あげる必要はあります。

※フードのくわしいお取り扱いにつきましては、各社ホームページにてご確認ください。

## 保管法・トラブルについてのQ&A

**Q** ドライフードの袋を開けてからどのくらいの間、食べさせられますか？

ドライフードはパッケージを開けて1ヵ月くらいで使い切ってください。封を開けたらパッケージごと**密閉容器に保存**してください。ドライフードは濡れるとカビの原因になることがあります。濡れた手やカップを袋の中に入れてないようにしてください。冷蔵庫で保存すると冷蔵庫から出し入れするときに袋のなかに結露が生じてカビの原因になることがあります。直射日光を避けて、**涼しい室内で保存**してください。

**Q** 缶入りのフードは、缶を開けてからどのくらいの間、食べさせられますか？

缶詰のフードは、缶を開けたら冷蔵庫で保存し**2日程度**で使い切ってください。その際は、**缶詰にラップをかけ**る、または**タッパーなどの容器にフードを移して保存**してください。

**Q** 療法食をあげはじめたら、吐く(下痢をする)ようになりました。どうすればよいですか？

フードを急に切り替えると**吐いたり下痢をする**場合があります。そうならないように、療法食に切り替えるときは、これまでのフードに**療法食を少しずつ混ぜて**7日以上をかけて、療法食の割合をだんだんに増やしていってください。それでも吐くことや下痢が治まらない場合は、かかりつけの動物病院に相談してください。

**Q** パッケージに書いてある通りの量を食べさせていたら、太って(痩せて)きました。どうすればよいですか？

パッケージに書かれた分量は、あくまでも療法食をはじめるときの**目安の分量**です。犬や猫の体重や体調を確認しながら、獣医師の先生の指示に従って、食べさせる量を調節してください。